

# 令和 8年度予算見積調書

課室名：感染症対策課

担当名：感染症担当

内線：7330

(単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業	
S41	クラウド型医療通訳映像システムによる感染症対策事業				一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	感染症予防費	
事業期間	平成30年度～令和 8年度	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律				針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	3
							分野施策	0104 感染症対策の強化	SDGsターゲット	3-3
1 事業概要			5 事業説明 (1) 事業内容 日本語が不自由な外国人感染症患者に対して、感染症のまん延防止のための調査・指導を適切に行うことを目的として、県13保健所に導入したクラウド型医療通訳映像システムを活用することにより、言葉が通じないことによる感染症のまん延防止を図る。 ア システムの内容 保健所職員が外国人対応が必要な際に、タブレット端末によるディスプレイを通じて、医療通訳オペレーターによる外国語医療通訳サービスを利用する。 イ 通訳内容 感染症法に基づく感染症のまん延防止策である。具体的には、患者及び家族その他接触者の行動調査、入通院支援、健康相談、保健相談、服薬支援等である。  (2) 事業計画 クラウド型医療通訳映像システムの運営 3,438千円 クラウド型医療通訳映像サービスを提供する事業者へ委託して実施する。  (3) 事業効果 日本語が通じない外国人感染症患者に対し、適切に調査・指導を行うことにより、感染症の拡大を未然に防ぎ、県民及び来訪者に安心を提供する。							
グローバル化の進展や国際的イベントの開催、改正入国管理法を契機とする外国人材の受入れ活発化に伴い、今後外国人労働者及び観光客の増加が見込まれる。 県内の在留外国人数は増加している状況である。日本語が不自由な外国人の感染症患者に対して、まん延防止のための調査・指導を適切に行うため、クラウド型医療通訳映像システムを活用する。										
システム運営費 3,438千円										
2 事業主体及び負担区分										
【厚生労働省】 感染症予防費負担金 (国1/2・県1/2)										
3 地方財政措置の状況										
なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
9,500千円×0.3人=2,850千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
		国庫支出金								
決定額	3,438	1,719							1,719	0
前年額	3,438	1,719							1,719	

## 事業内訳書

事業名	クラウド型医療通訳映像システムによる感染症対策事業		
単位事業名	システム運営費	予算額	3,438千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 公衆衛生費負担金	1,719	0	【厚生労働省】 感染症予防費負担金 負担率 1/2
一般財源	1,719	0	
合計	3,438	0	

### ○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	3,438	0	翻訳業務委託 3,438千円
合計	3,438	0	